

D I A M シェール株ファンド

追加型投信／海外／株式

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として北米（米国・カナダ）のシェールエネルギー関連株式への投資を通じて、中長期的な信託財産の成長を目的として、積極的な運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2019年6月13日～2020年6月12日

第7期	決算日：2020年6月12日	
第7期末 (2020年6月12日)	基準価額	5,257円
	純資産総額	761百万円
第7期	騰落率	△33.0%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

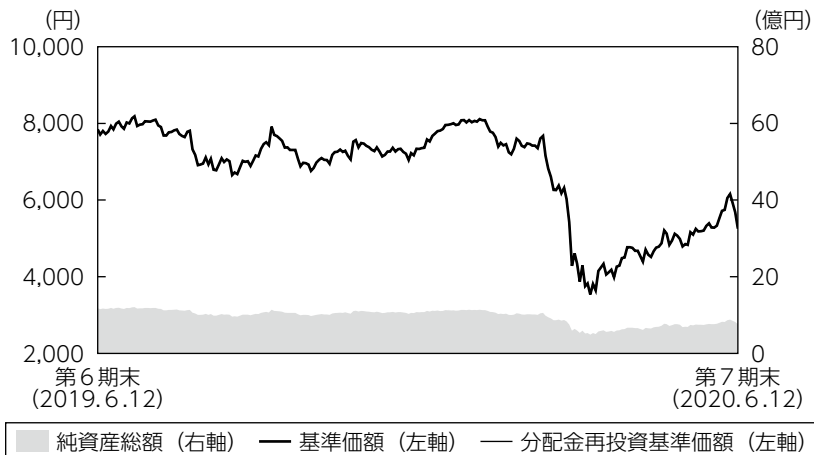
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第7期首： 7,845円
 第7期末： 5,257円
 (既払分配金0円)
 騰落率： △33.0%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

2020年2月下旬以降に新型コロナウイルスの感染が米国や欧州へと波及したことから世界経済の悪化やエネルギー需要の低下が懸念され、原油価格の下落に連動する格好で保有するシェール関連銘柄の株価は大きく下落しました。その後、原油価格が反発したことで関連銘柄の株価も値を戻す展開となりましたが、前期末比では下落して当期末を終えました。また為替市場においても主要通貨に対して前期末比で円高傾向となったため、基準価額は下落しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第7期		項目の概要
	(2019年6月13日 ～2020年6月12日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	115円	1.706%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は6,716円です。
(投信会社)	(55)	(0.820)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(55)	(0.820)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(4)	(0.066)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.036	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(2)	(0.036)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	5	0.081	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(5)	(0.076)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.001)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	122	1.823	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

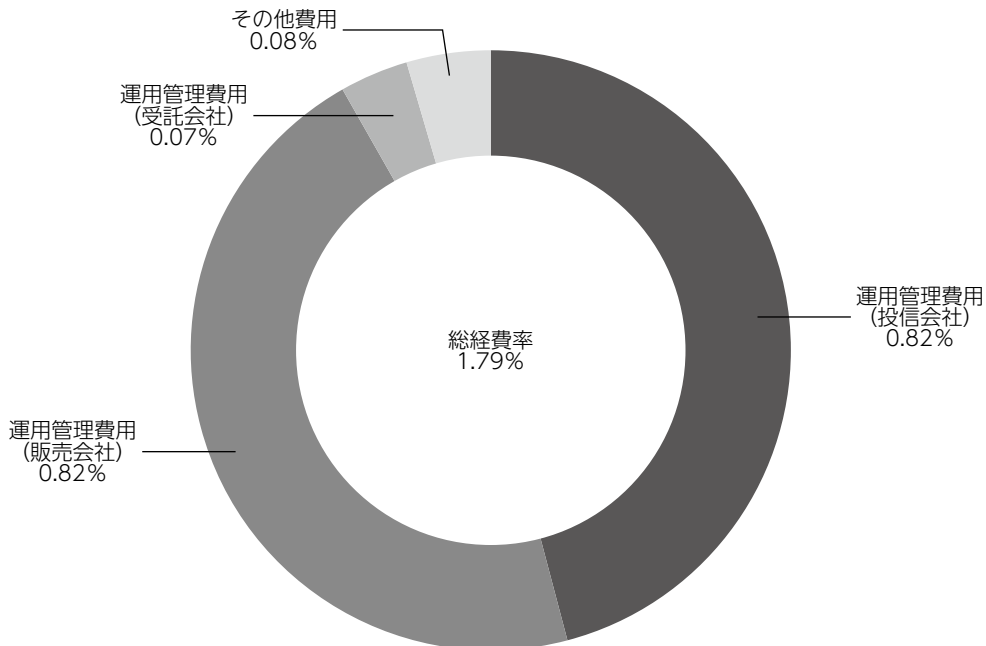
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.79%です。



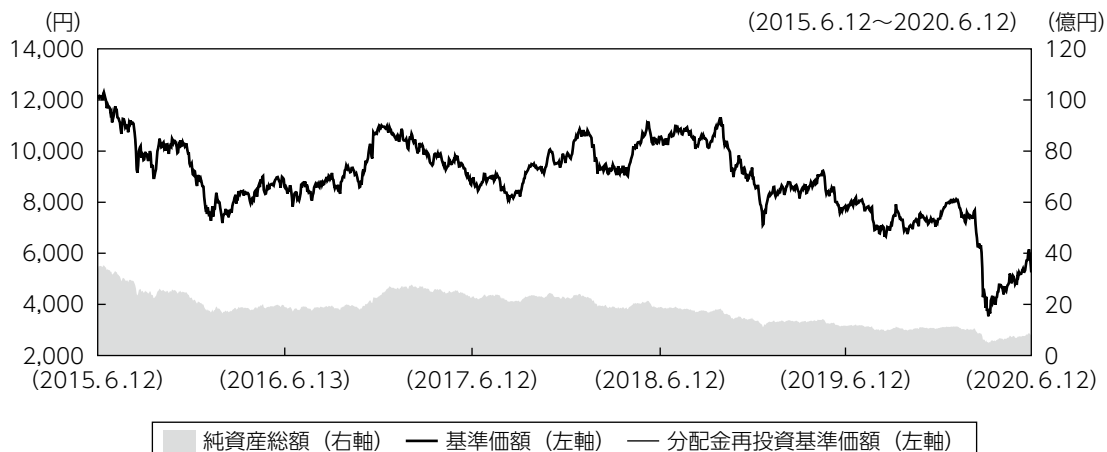
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2015年6月12日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2015年6月12日 期首	2016年6月13日 決算日	2017年6月12日 決算日	2018年6月12日 決算日	2019年6月12日 決算日	2020年6月12日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	12,186	8,600	8,873	10,550	7,845	5,257
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△29.4	3.2	18.9	△25.6	△33.0
純資産総額 (百万円)	3,304	1,897	2,298	1,897	1,176	761

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

投資環境

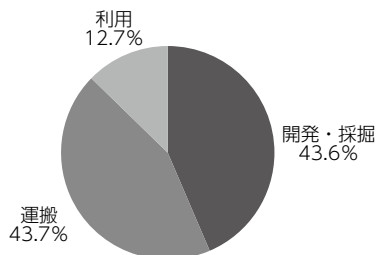
外国株式市場は、期初から2020年2月中旬にかけては米中貿易摩擦の懸念緩和や堅調な米国経済を好感し上昇しました。2月下旬には新型コロナウイルスの感染が米国や欧州へと波及したことから相場は下落に転じ、世界経済の悪化懸念や原油先物市場の急落等から下げ幅を拡大しました。その後、先進国での感染拡大ペースの鈍化傾向や、経済活動の段階的な再開等から相場は反発し、前期末比では上昇して期末を終えました。

為替市場は、主要通貨に対して前期末比で円高傾向となりました。期初から2020年2月中旬にかけては米中貿易摩擦の懸念緩和や堅調な米国経済が好感され米ドルが買われる展開となりました。しかし、2月下旬には新型コロナウイルスの感染が米国や欧州へと波及したことから一転し、円高ドル安が進みました。その後、先進国での感染拡大ペースの鈍化傾向や、経済活動の段階的再開から再び米ドルが買われる展開となりましたが、前期末比で円高ドル安となりました。

ポートフォリオについて

原油生産に関連した銘柄群への投資割合を高め維持しました。一方、米国でのシェールガスの供給能力を勘案すると、米国の天然ガス価格は「低位で推移する可能性が高い」と考え、安価で安定した米国天然ガスを使用することで利益を伸ばせる石油化学関連の銘柄群や、海外への米国天然ガス輸出拡大を想定して天然ガス輸送関連銘柄群への投資を継続しました。

○分類別組入比率



(注1) 組入比率は組入株式評価額に対する割合です。

(注2) シェールエネルギー関連企業における分類であり、委託会社独自のものです。

分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2019年6月13日 ～2020年6月12日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－％
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	1,429円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

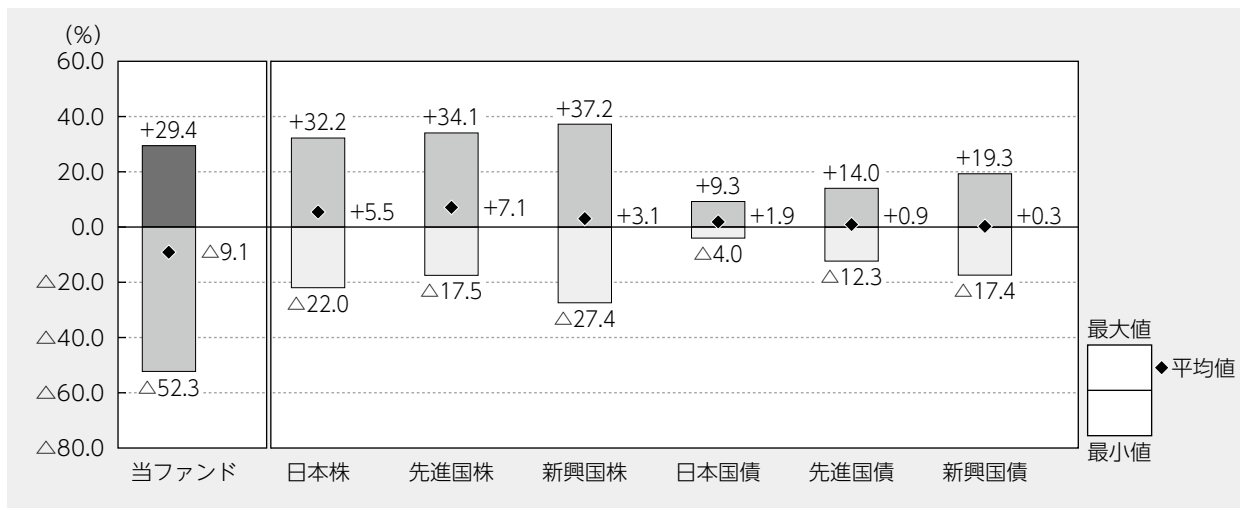
今後の運用方針

運用にあたっては、原油市場の需給動向の変化や、OPEC（石油輸出国機構）の協調減産の遵守率などを注視しながら運用にあたります。今後の運用方針については、開発・採掘を行う企業を積極的に組入れます。開発・採掘を行う企業の組入れについては、採掘活動の回復によって今後の生産量の増加が期待できる銘柄を中心としております。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2013年6月13日から2023年6月12日までです。
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。
主要投資対象	米国およびカナダの金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象とします。
運用方法	<p>主として北米（米国・カナダ）のシェールエネルギー関連株式^(※1)への投資を通じて、中長期的な信託財産の成長を目的として、積極的な運用を行います。</p> <p>(※1) シェールエネルギー関連株式とは、シェールエネルギーの開発・採掘・運搬、シェールエネルギーの利用等によって恩恵を受けると委託会社が考える北米の金融商品取引所に上場している企業の株式のことをさします。</p> <p>株式のほかにMLP^(※2)へ投資する場合があります。</p> <p>(※2) MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）とは、米国の共同投資事業形態の一種です。当ファンドでは、金融商品取引所に上場しているシェールエネルギー関連のMLPを投資対象とします。</p> <p>個別企業の成長性・財務内容等を調査・分析した上で厳選し、原則として30～50銘柄程度に絞り込んで集中投資します。</p> <p>株式の組入比率は、原則として高位を維持します。</p> <p>組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。</p>
分配方針	決算日（原則として6月12日。休業日の場合は翌営業日。）に経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2015年6月～2020年5月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2020年6月12日現在）

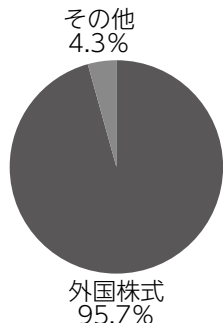
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
CHENIERE ENERGY INC	アメリカ・ドル	6.4%
PIONEER NATURAL RESOURCES CO	アメリカ・ドル	5.4
CHEVRON CORP	アメリカ・ドル	5.0
EXXON MOBIL CORP	アメリカ・ドル	5.0
EOG RESOURCES INC	アメリカ・ドル	5.0
CONCHO RESOURCES INC/MIDLAND TX	アメリカ・ドル	4.9
CANADIAN PACIFIC RAILWAY LTD	カナダ・ドル	4.8
CANADIAN NATL RAILWAY CO	カナダ・ドル	4.5
UNION PACIFIC CORP	アメリカ・ドル	4.4
LYONDELLBASELL INDUSTRIES NV	アメリカ・ドル	4.4
組入銘柄数	32銘柄	

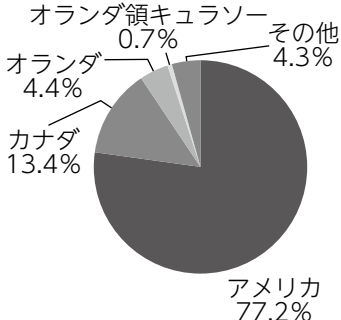
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

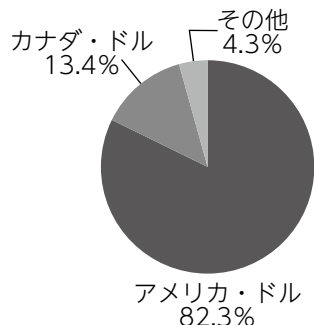
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分は、発行国（地域）を表示しております。

(注3) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

項目	当期末
	2020年6月12日
純資産総額	761,098,621円
受益権総口数	1,447,790,007口
1万口当たり基準価額	5,257円

(注) 当期中における追加設定元本額は379,915,567円、同解約元本額は432,280,970円です。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（株東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

